

令和4年度 ライフかすみ 事業報告

1. 重点の目標・課題

コンセプト 『穏やかで安心できる暮らし』

<重点目標>

『新型コロナウイルス感染防止に努め、高齢化・重度化に重点を置き一人ひとりを重視した支援に取り組む』

- (1) 新型コロナウイルス感染防止
- (2) 保護者との連絡、面会、帰省に関する取り組み
- (3) 高齢利用者に対する支援の向上
- (4) 日中活動の新たな展開 Wi-Fi環境導入による日中活動の充実
- (5) 行事のあり方
- (6) 各セクション間の連携

□定員 施設入所 125名、生活介護 130名

※利用者年齢・支援区分・支給決定市町：別添資料

2. 事業・活動実施に当たっての具体的な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染防止

利用者および職員においても新型コロナウイルスの十分な感染予防に取り組む。感染防止の基本となる手指消毒、検温、換気等の徹底に努める。またマスクやペーパータオル、消毒液等必要備品等の補充を計画的に行った。

・施設内クラスターの対応

○9月3日にひまわり棟の女性利用者が陽性 その後、棟内に拡がりクラスター発生
7日よりゾーニング開始し21日に解除（14日間隔離）
利用者19名 職員5名が陽性

○11月12日男子棟たちばな2Fの利用者が感染 その後、たちばな2F→あけぼの→たちばな1Fの利用者に拡がる。
14日よりゾーニング開始し31日に解除（18日間隔離）
たちばな2F利用者11名 職員7名 あけぼの利用者5名 職員3名
たちばな1F利用者5名 職員3名が陽性

○11月26日女子棟こがね2Fの利用者が感染 その後、こがね1F2Fにゆっくり拡がる。
27日よりゾーニング開始し12月26日に解除（30日間隔離）
こがね2F利用者4名 職員3名 こがね1F利用者6名 職員4名が陽性

※ゾーニング期間中 災害対策室会議の開催を実施し、保健所等の指導や指示を伝え情報共有と指示系統の確実な伝達をおこなった。又、不足している備品や防護具の確保をする。

(2) 保護者との連絡、面会、帰省に関する取り組み

保護者会行事や面会については、令和4年度は保護者会との取り決めの中で県の「感染拡大注意報（以上）の発令中は行事、面会は中止としているため、6月の面会週間と10月の面会日は実施できなかった。全体行事である9月の物故者法要は学園関係者で平日に執り行い、かすみ祭は中止とした。

コロナの影響が長引いており、1年以上会えてないので顔だけでも見たいという保護者家族様からの要望もあり、地域の感染状況を見ながら短時間の個別面会は実施してきた。

帰省については、利用者の障がい特性や情緒安定を考慮しながら感染対策を徹底し、県内の感染状況を見ながら実施した。当然、福井県の感染拡大警報発令時やライフかすみでの施設内感染のゾーニング中は保護者に理解を求め中止した。週末帰省（月1, 2回程度）10名程度、夏のお盆帰省16名、年末年始の帰省26名とコロナ禍前の約半数と少なくなっている。コロナ禍の影響であるが、年々高齢重度化により帰省できない人が増えているのが現状である。

(3) 高齢利用者に対する支援の向上

利用者の高齢化は年々進んでおり、身体機能の低下や基礎疾患等による治療入院・手術が必要であったり、認知症の症状のある方や癌等を患っている方もおられる。超高齢者の急な体調の不良や食事・水分摂取の拒否など急な変化の緊急な通院も増えている。令和4年度は超高齢の利用者で療養型病床に入院していた2名の方が亡くなる。また、コロナに感染し基礎疾患があった2名の方がコロナ病床で亡くなる。

また、特殊浴槽を利用して入浴が必要な方や車椅子の利用や身体的な介護が必要な方が増え、障害に対しての支援と併せて、身体的な介護や医療的ケアが必要な利用者が益々増えているのが現状である。

（特殊浴場利用者 12名程度）

（常時車いす利用者 14名 外出時車いす利用者 15名程度）

(4) 日中活動の新たな展開 Wi-Fi 導入による日中活動の充実

従前のような日中活動班による活動は実施できていない。（日中活動リーダー会議は月1回開催）実施できない理由として①コロナ禍による活動や交流の自粛や制限があること②町と日中活動班を動かす場合、日中職員の人員確保が難しいこと。（パート職員が中心の体制の課題）

今後の日中活動のあり方は、各町での活動の充実が求められ、各町単位で造形活動や日常生活上必要な掃除や運動やお楽しみ行事など工夫しながら実施予定である。

6月から9月にかけて、館内のWi-Fi環境構築に必要なネットワーク機器導入や工事整備を進めてきた。10月には工事が完了し館内のWi-Fi環境が整う。また、福井県ICT導入支援事業補助金制度を利用してタブレット12台を購入し、各部署に配置して職員ようとして支援記録等に活用している。コードレスで携帯できること、他の支援員がパソコンを使っているときなど便利である。オンラインの研修が増えているので、今後も活用幅を広げていきたい。

しかし、利用者向けにWi-Fi導入により、動画や映像等を活用し、活動プログラムに取り入れることや、オンラインでの交流活動の検討はしていたが、コロナが蔓延したこともあり具体的な活用は少しずつ進めていく。

(5) 行事のあり方

コロナ感染防止に重点をおき実施内容を検討して行った。ライフかすみ内の行事として、開園記念行事・夏のお楽しみ会(かき氷)・クリスマス行事を実施できた。クリスマス行事はコロナ感染症ゾーニング中でもあり、内容提案等にとどまり、各町で状況に合わせて行ってもらうなど各町単位で行う。夏のお楽しみ会では、「トイレトペーパー積み」を各町対抗で行ったが(高く積み上げる)大変盛り上がっていた。保護者会行事である保護者懇談会やかすみ祭(文化祭)はコロナの影響で実施出来なかった。

※日中活動リーダー会議まとめ：別添資料

(6) 各セクション間の連携

コロナ禍の中、令和4年度は施設内クラスターにより利用者や職員がコロナウイルスに感染したり、濃厚接触の場合の出勤停止などで職員が不足するケースが多くあった。特にゾーニング期間中は、レッドゾーンの職員と支援課、総務課、医務、厨房などの各セクションの連携や役割外の業務分担に苦慮した。サービスの質の向上や虐待防止、コロナ等の感染対策の観点から、日頃より各セクション間の情報の共有を通じてセクショナリズムを防ぐことで、職員が不足した場合などに応援体制が組めるようお互いに理解し協力できる体制を浸透させる必要がある。

3. 短期入所・日中一時支援

令和4年度はライフかすみ内に新型コロナウイルスが流行したため、9月、11月、12月の3カ月は利用者の方に利用を控えていただくようお願いしている。それ以外は感染防止対策を行い、今まで通りの受け入れを維持できている。

令和4年度は計6名のパート職員に勤務してもらい、余裕はあったが、その内3名が学校を卒業し、3月で勤務を終えている。今後新たなパート職員の確保に努めていきたい。

地域生活支援拠点等整備事業については6、10、2月が緊急受入れの当番月であり、6月1件、2月1件の緊急受入れ事案が発生したため、各町の協力を得て、地域の障がいある方のニーズに対応し役割を果たしている。



令和4年度 ライフかすみ 活動報告

月	日	記 事
4	1	新年度 個別支援計画作成（～14日） 花見外出（各町 ～上旬）
	4	感染症対策委員会
	12	たけとうDr往診
	20	胃透視
	21	運営会議・ライフ主任会議
	25・26	粗大ごみ廃棄
5	2	金城大生ボランティア
	10	たけとうDr往診
	11・25	布団交換
	16	感染症対策委員会 溝掃除
	18	内科検診（利用者） 日中活動リーダー会議
	19	運営会議・ライフ主任会議 事故防止委員会 虐待防止・身体拘束適正化委員会
	29	県障がい者スポーツ大会（ボウリング）
6	1	開園記念行事
	4	県障がい者スポーツ大会（フライングディスク）
	6	感染症対策委員会 寮内大掃除
	8	事故防止委員会
	9	法人内勉強会
	14・24	寮内喫茶店・図書
	15・24	サービス管理責任者更新研修受講
	16	運営会議・ライフ主任会議 虐待防止・身体拘束適正化委員会
	22	35才以下職員検診
	23	歯牙検診
	27	サービス向上委員会
	28・29	35才以上職員検診
	30	内部研修（虐待防止・意思決定支援） 日中活動リーダー会議
7	4・20	感染症対策委員会
	5	日帰り旅行（たちばな町2F） サービス管理責任者更新研修受講
	6	利用者検診（胸部レントゲン）
	7	避難訓練（土石流想定）
	11	虐待防止マネージャー会議 福井県知的障害者福祉協会障害者支援部会
	12	日中活動リーダー会議
	13	強度行動障害支援者養成研修（基礎）
	21	運営会議・ライフ主任会議
	22・27	寮内喫茶店
	26	内部研修（福祉サービスについて）
	29	仁愛短大実習生受入（～8/12）
	30	感染症対策リーダー研修会
	1	感染症対策委員会
	2	たけとうDr往診

月	日	記 事
8	9	サービス向上委員会 日中活動リーダー会議
	10	事故防止委員会 コロナウイルス・ワクチン接種4回目（65歳以上利用者）
	15	仁愛短大実習生受入（～8/26）
	18	運営会議・ライフ主任会議
	19・25	寮内喫茶店
	26	日中活動リーダー会議
	29	金城大実習受入（～9/2）
9	1	個別支援計画モニタリング（9月中）
	1	夏のおたのしみ行事 強度行動障害支援者養成研修（基礎）
	14	コロナウイルス・ワクチン接種4回目（65才以下利用者）
	16	日中活動リーダー会議
	28	日帰り旅行（こがね町2F）
	7～21	コロナウイルス・ゾーニング対応（ひまわり町）
10	3	感染症対策委員会
	5	日中活動リーダー会議
	6	日帰り旅行（たちばな町1F）
	12	利用者検診（採血）
	18	避難訓練（夜間）
	19	日帰り旅行（こがね町1F）
	20	運営会議・ライフ主任会議 虐待防止・身体拘束適正化委員会
	21	サービス管理責任者基礎研修受講（講義） 福井県知的障害者福祉協会職員研修会
	25・28	寮内喫茶店
	26	日帰り旅行（ひまわり町）
27	内部研修（障害福祉サービスについて） 日帰り旅行（あけぼの町）	
11	1・2	サービス管理責任者基礎研修受講（演習）
	2	内科検診（利用者）
	7	感染症対策委員会
	8・10	冬タイヤ交換
	9	事故防止委員会
	14～31	コロナウイルス・ゾーニング対応（たちばな町・あけぼの町）
12	7	インフルエンザ予防接種
	15	ライフ主任会議
	20	運営会議
	21	インフルエンザ予防接種
	22	クリスマスイベント
	11/26～26	コロナウイルス・ゾーニング対応（こがね町）
1	10	感染症対策委員会 たけとうDr往診
	12	サービス向上委員会
	19	運営会議・ライフ主任会議
	20	夜勤従事者採血
	24・25	寮内喫茶店

月	日	記 事
	26	日中活動リーダー会議
2	2	内部研修（感染症・食中毒について）
	6	感染症対策委員会
	7	たけとうDr往診
	13	金城大実習受入（～3/9）
	14・17	寮内喫茶店
	16	運営会議・ライフ主任会議
	25	3団体研修
	28	坂井地区協議会権利擁護部会研修会（意思決定支援について）
3	1	個別支援計画モニタリング（3月中）
	3	移乗サポートロボット（HUG）取扱研修会
	6	感染症対策委員会 NHK学園実習受入（～22日）
	8	事故防止委員会 強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ研修）受講
	9	内部研修（虐待防止・権利擁護）
	10	日中活動リーダー会議 溝掃除
	11	パナソニック労組来園
	16	運営会議・ライフ主任会議 虐待防止・身体拘束適正化委員会



<p>① 令和4年度の振り返り</p>	<p>日中活動班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は日中活動班に分かれての活動は行わなかった。(感染症等もあり行えなかった) →今後も以前のように日中活動班に分かれての活動は難しい(通院対応・入浴対応・感染症対策等) →小規模単位での活動 町での活動の充実 <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園記念行事・夏のお楽しみ会(かき氷)・クリスマス行事を企画したが、クリスマス行事はコロナ感染症ゾーニングもあり、内容提案等にとどまり、各町で状況に合わせて行ってもらった。 ・夏のお楽しみ会では、「トイレトペーパー積み」を各町対抗で行ったが(高く積み上げる)盛り上がったよう。 →オンラインで各町の様子が分かるとより盛り上がりができるのではないか
<p>② 来年度についての考察</p>	<p>◎以前のように日中活動班の活動は想定できない。(感染症予防の観点から大人数での活動には限界あり/大人数を少人数(日ごろから関わりの薄い)の職員で支援する困難さ(本人の特性や希望等の多様化に応えられない)</p> <p>☞日中活動班はなくし、<u>町での活動や個別支援を充実させていく。</u></p> <p>例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書や紋紙を各町の活動の一環として行う(図書や訓練棟の使用予約) ・日常生活の中のひとこまを活動として捉える →清掃・雪かき・草取り・洗車・洗濯 など ・wifi設置後の活用 →オンライン交流(同じ時間にあわせる必要)…行事で活用 ・ミュージックケアを町で開催するなど、職員の得意分野を活用し派遣 ・アールブリュッド展出展を目標にしての、造形等への取り組み ・ベタンク、フライングディスク等を普段の活動の中に取り込む <p>◎各町での自治会… 監査でも問われる/係から話題を設定し(時事等の情報提供、希望を聞く等)定期的(月1回程度)に各町で開催をする。希望等を集約し、法人側に要望をあげたり改善できることはつなげ、利用者の生活環境の改善(よりよい生活)を図れるように取り組む。</p> <p>◎行事… 現行の行事をベースに年4回程度(季節等が感じられるような企画)開催する。 行事自体も活動の目標等になり得るので、行事に向けての取り組み(造形や準備等)</p> <p>◎係り職員の配置… 上記の活動・自治会・行事を連携させていく/主任・副主任やある程度アイデアを出したり、意見を集約して実行したり、新しいことを創造していけるようなメンバー構成/各町に1人は係り職員を配置する</p>



	施設入所支援	生活介護
定員	125	130
現員	113	115

以下の表3つについては施設入所支援の部分

年齢別人数・平均年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳以上	計	平均年齢	最年少	最高齢
男性	0	1	9	7	9	11	17	4	1	59	59.4	27歳	90歳
女性	0	3	4	7	5	11	14	7	3	54	63.3	23歳	93歳
合計	0	4	13	14	14	22	31	11	4	113	61.2		

障害支援区分	自立	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計(人数)	合計(区分)	平均
男性				1	11	24	23	59	305	5.17
女性				1	12	20	21	54	277	5.13
合計				2	23	44	44	113	582	5.15

支給市町	坂井市	あわら市	福井市	永平寺町	勝山市	大野市	鯖江市	越前市	越前町	南越前町	敦賀市	小浜市
	30	12	33	5	3	3	6	10	1	3	3	2
	安城市	彦根市										
	1	1										

短期入所・日中一時支援	短期入所	日中一時支援
定員(1日の上限人数)	4	7
現在の登録者数	14	15

利用している年齢	最年少	最高齢
	10歳	51歳

